



第99号

令和4年(2022年)

5月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

令和4年度の予算を可決

前年度比23億5,200万円(過去最大) 4~9p



令和4年度の
施政方針を問う 2~3p

第1回定例会
主な審議・補正予算 10~11p

ここが聞きたい! 一般質問 12~15p

常任委員会報告 16~18p

一部事務組合議会報告、事務局紹介、陳情 19p

賛否一覧、決議、議会条例改正 差し込み

古賀市議会



写真: 仲間を見送り、仲間を迎える、古賀市消防団入退団式。

市長の政治姿勢や政策の内容について各会派の代表が問う！

施政方針質疑

会派と所属議員
自由クラブ
(じゆうくらぶ)

松島 岩太
渡 孝二
福崎 トビオ
中野 敦史
内平 晃二

友 和 (ゆうわ)

森本 義征
清原 哲史
奴間 健司

市民クラブ
(しみんくらぶ)

古賀 誠視
村松 謙二
紙谷 由香

公明党 (こうめいとう)

井之上 豊
平木 尚子

山海会 (さんみかい)

田中 英輔
伊東 洋子

会派に属さない議員

内場 恭子
吉住 長敏
竹下 司津男
結城 弘明

自由クラブ (松島 岩太・渡 孝二・福崎 トビオ・中野 敦史・内平 晃二)
施政方針について

議員 10年計画である総合計画の初年度に対する意気込みは。

市長 総合計画はまちづくりの最上位の計画であり都市イメージ「ひと育つこが育つ」に向けて全力でスタートを切りたい。

議員 「ひと育つこが育つ」とは。

市長 お互いに思いやり、支え合い、ふるさとに根差してまちの未来を切り開いていけるような人が育ち続けるまちづくりをめざしていきたい。

議員 昨今、地域の中で、なり手不足が深刻化してきていて危機的な状況にあるが。

市長 地域の担い手という新たな取り組みを進めるとともに検討していきたい。

議員 「チルドレンファースト」というが「子育て家族ファースト」になっていて、子ども中心になっていないように思うが。

市長 保護者がしっかりと安定した状況で子育てという営みができるという環境を整えるということが、ひいては子どもが健やかに育っていくことにつながると考えている。

議員 市政を担う、市長のふるさと古賀への想い、郷土愛について

この認識は。

市長 このまちに暮らす私たちが、このまちには誇るべき自然、歴史、文化、産業、人の営みがあるということの価値を知り、行動していくことで郷土愛が深まり、ひいては郷土の誇りの広がりにもつながっていくものと考えている。

議員 ならばなぜ、施政方針に古賀市市制25周年に対する取り組みや記述がないのか。

市長 施政方針に入れるということがよき選択だったかなと思う。

古賀市ゼロカーボン宣言について

竹下 司津男

議員 日本国のCO₂排出量は世界全体の排出量割合の約3.2%にすぎず、大気中に含まれるCO₂含有量はせいぜい0.04%にすぎない。国土の約7割を森林が占め、古賀市でも約3割が森林という現状。光合成のためにCO₂が絶対不可欠だが、ゼロカーボン政策は必要なのか。

友和 (森本 義征・清原 哲史・奴間 健司)

AIオンデマンドバスの運行に期待・公共施設廃止問題

議員 AIオンデマンドバスが軸となって古賀市内全域を網羅する路線公共交通となるのか。

市長 特に高齢化率が高く、路線バスの利用がしにくい花鶴丘、日吉台の地域においてAIオンデマンドバスの運行を開始したいと考えている。新たな移動手段を確保していくことは喫緊の課題。市内全域の利便性向上に努める。

議員 現在の路線バス事業が廃止・縮小される危惧があるが。

市長 路線バスが全てこの先の形でよいということはない。公共交通のネットワークがどういった形が適正なのかということを検証しながら新たなものの導入を始める。

議員 公共施設廃止は市長の判断で、決定の変更はあり得るのか。

市長 廃止を検討するとアクションプランに記載をしている事実はあるが、廃止を決定した事実はない。

市民クラブ

(古賀 誠視・村松 謙一・紙谷 由香)

新型コロナウイルス感染拡大対策と支援について

議員 5〜11歳のワクチン接種を行うと判断した根拠は。

市長 子どもへのワクチン接種は努力義務ではないことは認識している。一方で子どもへの有効性も確認されているという事で、接種を選択肢としてきちんと市民の皆さまに提示することは、大切なことだと判断した。

議員 子どもへの接種を行う上での留意点など、どのように進めるのか。

市長 大人への接種とは異なるという前提に従って、対象者への発信はきちんと書くべきことを書いて発信する。

議員 コロナ後遺症の人への対応は。新型コロナウイルス感染症の治療や療養が終了した後、倦怠感や咳、味覚・嗅覚障害の症状等の後遺症に悩んでいる「後遺症診療相談窓口」への案内等を行っている。

公明党 (井之上 豊・平木 尚子)

市長の施政方針に対しての質疑

議員 グッド・アンセスターはいいが今の課題の解決はどうか。

市長 どうしたらよき祖先であるかは、SDGsに共通する理念であり、自治体運営において重要であると考えた。

議員 「ゼロカーボンシティ宣言」の具体的視点はどうか考えるか。

市長 地球温暖化を緊急課題と位置付け「自分ごと」として考え行動し、その対策に取り組まなければいけないと考える。

議員 行政が連携し、二酸化炭素排出量削減に取り組むことが不可欠であることを市民に訴えていく。

市長 デジタル化の推進について。デジタル技術を活用した市民の利便性向上、業務効率化や生産性向上をめざす。

山海会 (田中英輔・伊東 洋子)

すべてのひとが安心して暮らせるまちへ

議員 厚労省報告では健康な未成年者は、コロナ感染症よりワクチン接種後の重篤化の方が深刻。5〜11歳のワクチン接種は、接種券を一括送付ではなく申請方式にしては。

市長 保護者が子どものことを考えて選択する環境を担保する。

議員 チルドレンファーストのさらなる強化にどう取り組むか。

市長 「うまれてきてくれてありがとうBOX」がたからばこくの配布、産後ケア事業、育児相談会、ヤングケアラー生活支援などを新たに実施する。

議員 ジェンダー平等を職場、学校、社会でどう進めるか。

市長 理解を促進する取り組みや意識を醸成する教育を進める。

議員 平和を次世代にどう繋ぐか。戦争の記憶、平和を継承する。

任期仕上げの施政方針の目標は

内場 恭子

議員 「こがたからばこ」や赤ちゃんへのお米プレゼントは継続が大事。人口増に、経済的に困っている子育て世帯支援や子ども医療費補助拡大、給食無償化などを進めるべきだ。

市長 子どもは社会の宝と認識。継続していきたい。まちづくりを進めれば古賀市を選ぶ可能性が高まる。検討していく。

JR古賀駅東口改造に古賀産材を大いに使用を

吉住 長敏

議員 昔、鉄道建設で大根川の石が使用された。駅東口開発で東山地の木を使う大方針を。

市長 新たなシンボルになる駅東口には市の魅力が凝縮されたコンセプトが重要。そのゾーンに何らかのカタチで森林環境を生かしていく発想、アイデアを共有しながら、全体を構成していくことにつなげたい。

一般会計予算

前年度比23億5,200万円の増

過去最高額

248億7,541万円

令和4年度
予算

予算審査特別委員会(3月7日～18日の間の5日間)を設置し、審査しました。
主な歳出の事業内容と、資料要求に基づいた回答を報告します。

※表紙および4～7Pの文中の金額は全て千円以下四捨五入
(質問に対する回答は除く)

公共交通維持・確保事業

地域公共交通のネットワーク強化を図る
AIオンデマンドバスの運行委託や、西鉄
バス運行補助、コガバス運行委託、地域移
動サポート事業、コロナ禍により経営が厳
しい公共交通事業者に対する支援金など。

質問

AIオンデマンドバスの運行計画と委
託先の選定基準、委託先は。また、運
行支援委託による委託内容は。

回答

運行計画は委託者と協議の上決定。
委託先は市内の法人タクシー事業者を
予定。
運行支援での委託内容はAIによる
ルート選定などを行うシステムの運用
や、予約に係る電話対応など。

質問

AIオンデマンドバスの機能や、借り
上げ台数と単価は。

回答

機能としては、乗車時にICカードを
タッチすることで料金の支払いができる。
台数は予備車を含め3台。
単価は1台あたり月額35800円(税別)。

担当課：経営戦略課

9,523万円

インキュベーション促進事業

サテライトオフィスや、 coworkingス
ペース等にリニューアルした薬王寺の温泉
旅館「快生館」を拠点に、新ビジネスの創
出や新規起業の支援を促進し、移住・定住・
滞在を促すための新たな取り組みを展開。

質問

施設の借り上げ料は。

回答

月額30万円の12月分で積算。

質問

サテライトオフィスの誘致をどう行うのか。

回答

進出する企業や、実証事業の実施に関
する業務を委託し行う。

質問

公益性をどう見込んでいるか。

回答

サテライトオフィスや、テレワークな
どの多様な働き方の推進、天然温泉で
ある重要な観光・地域資源を活用し、
移住・定住・滞在の促進など、持続可
能な都市の形成に資することから公益
性があるものと認識。

担当課：経営戦略課

7,320万円

し尿処理事業

し尿・浄化槽汚泥の衛生処理のみならず、汚泥の有効利用が可能な再生・資源化設備を加え、循環型社会構築を可能とする汚泥再生処理センター（令和5年度供用開始）の建設工事、工事監理等の委託。

〔その他 令和4年度の主な取り組み〕

電気保安管理・放流水水質検査・臭気検査・精密機能検査等の業務委託や、施設機器維持補修工事、海津木苑運営委員会の事務局事務や施設啓発など。



担当課…環境課

15億3,040万円

農業者経営安定支援事業

新規就農者、女性農業者等の担い手支援や、高収益型農業の拡大・継続の支援、クラウドファンディングにより資金を調達し補助金の交付。また、地域おこし協力隊による農産加工品の開発。

質問

クラウドファンディング型チャレンジ支援事業の観光農園の予定地は。農村加工所の現状は。

回答

観光農園は令和4年4月以降に3事業者を上限に公募予定であり、実施地は未定。
農村加工所は解散したが市内加工所で元会員が農産物の加工販売を行っている。

担当課…農林振興課

3,394万円

防災体制強化事業

消防団員の年額報酬や出勤報酬の支給額の引き上げ・災害活動で使用した自家用車等に生じた損害を補償するための保険加入、防災士資格取得の補助。地域の公民館では緊急避難場所を開設する際の必要となる備品等の購入費を助成。

担当課…総務課

6,379万円

商工業活性化推進事業

消費の低迷から地域経済を回復させるためのデジタル商品券の発行補助や、JR古賀駅西口エリアの活性化をめざすエリアマネジメント業務、市内事業者の販路拡大、ふるさと納税の新規返礼品の開発など。

質問

デジタル商品券の発行、スケジュールは。

回答

発行主体は古賀市商工会。古賀市内で独自に実施するプレミアム付き電子地域振興券で、プレミアム分900万円＋事務費155万円。スケジュールは古賀市商工会と協議の上決定。

担当課…商工政策課

5億3,820万円

古賀駅周辺整備事業

古賀駅東口は「歩きたくなくなる 暮らしたくなる居心地の良いまちづくり」をコンセプトに公共施設の基本設計、周辺道路設計を実施。西口は時代の変化に適した駅前広場や周辺道路の交通計画を検討。

担当課…都市整備課

1億367万円

妊娠・出産・乳幼児期支援事業

妊娠中の健康の保持・増進を支援。子育て世代包括支援センターでは妊娠から乳幼児期にかけて切れ目のない支援の継続。新たに「産後ケア事業」「子どもの誕生祝い事業」「育児相談会」を追加。

質問

子どもの誕生祝い事業の「こがたからばこ」とは。

回答

令和4年4月1日以降に出生した子どもを対象としておむつなどの赤ちゃん用品を詰め合わせた「うまれてきてくれてありがとうBOX」がたからばこ」の製作を委託し、乳児家庭全戸訪問により配布を予定。子ども1人あたり7千円×550人×1・1税の423万5千円。

担当課：子育て支援課

3億 1,493万円

幼児教育・保育提供事業

保育施設への運営費給付、保育施設整備の支援、保育士確保のための合同就職説明会の開催や保育士の業務負担軽減を図るICT化支援、保育所で医療的ケアが必要な児童を受け入れられる体制整備。

担当課：子育て支援課

23億 7,161万円

学習支援体制充実事業

35人以下学級の実施のため、少人数学級対応講師を派遣し、学習指導や生活指導を行うとともに、小学校に教育支援員を配置し、支援が必要な児童への学習支援や生活支援、担任の補助を行う。

担当課：学校教育課

1,186万円

学力・体力向上推進事業

外国語教育の促進のため外国語指導助手の配置や夏休み英会話教室の実施、ICT支援員の配置や、ヘルプデスクの設置により教員への助言、提案を行い、小・中学校のICTを活用した授業の充実を図る。

質問

外国語指導助手の選定方法と、ICT支援員の人数と配置について。

回答

外国語指導助手の選定は、公募型プロポーザル方式にて選定。ICT支援員3人と主任支援員1人を予定。支援員は担当する3校または4校を定期的に訪問し、1日7時間程度の業務をする予定。

担当課：学校教育課

5,118万円

学校施設管理事業

古賀北中学校管理棟の屋上防水、トイレ等の改修。古賀東中学校の大規模改造工事に係る設計。千鳥小学校、古賀中学校のトイレ改修。古賀東小学校、古賀西小学校、花鶴小学校のトイレ改修に係る設計。

質問

古賀北中学校の工事内容と、古賀東・古賀西・花鶴小学校のトイレ改修のスケジュールは。

回答

古賀北中学校では、屋上防水、外壁・内部改修、バリアフリー、特別教室等へのエアコン設置などを予定し、令和5年3月に完了予定。東・西・花鶴小学校トイレ改修は令和4年度に実施設計、令和5年度に工事を行う予定。



担当課：教育総務課

6億 1,175万円

包括的自立支援事業

生活の困りごとを受け止める窓口の設置や、収入・支出・負債等の家計改善に向けた意欲喚起、貸付等の案内、就労等への支援。新たに子育て世代に対応した相談員を設置。

担当課：福祉課

3,996万円

デジタル化推進事業

オンライン申請業務の拡充やAI等の活用により、行政サービスを向上させ、市民の利便性向上につなげる。またデジタル格差の解消として「スマホおたすけ窓口」を設置。

担当課：デジタル推進課

1,100万円

障がい者生活支援事業

ライフステージやニーズに応じたサービスの提供や手当の給付等により、障がいのある人や、その家族が地域で安心して暮らせる支援を行う。新規事業では人工呼吸器を使う人に非常用電源の給付を追加。

担当課：福祉課

16億291万円

コミュニティ活動推進事業

担い手不足など、自治会や校区コミュニティが抱える協議の場にアドバイザーを派遣し、協議全体の構成や進行、とりまとめを支援。また新たにコミュニティ活動補助金を導入。

質問

地域づくりアドバイザーの資格は、コミュニティ活動補助金とは。

回答

アドバイザーは、地域まちづくり活動に関する支援業務実績がある事業者を想定。

コミュニティ活動補助金は市民活動団体、自治会、校区コミュニティを想定し、補助対象経費の5分の4を補助。



担当課：まちづくり推進課

9,285万円

感染症対策事業

新型コロナウイルスワクチン接種の実施に向けた体制整備（18歳以上の3回目・5～11歳の接種、希望する人への体制確保）、高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌の予防接種、風しん任意予防接種の助成など。

質問

5～11歳の接種のメリット・デメリットを保護者や子どもにどう伝えるのか。

回答

保護者や対象となる子どもへ向けたパンフレットを作成し、最新の情報を把握できるように、国やワクチンメーカーのホームページの案内と一緒に接種券等と同封し発送する。

担当課：健康介護課

3億674万円

文化財調査・研究推進事業

国史跡船原古墳の価値を、九州歴史資料館等と共同で行う高度な調査・研究。開発等で失われる文化財の記録保存のための調査を効率的に実施。その他文化財等を調査し、重要なものは指定を行う。

担当課：文化課

1億1,053万円

予算審査特別委員会

第5次古賀市総合計画スタートに沿った令和4年度予算

委員長報告 平木 尚子

予算審査特別委員会の審査に際し、市長、副市長、教育長をはじめ関係部長、課長等の出席を求め、予算概要の説明を聞くとともに、各委員による資料要求に基づく資料等を参考に、3月7日から4日間、審査を行い、3月18日に討論・採決を行いました。

一般会計歳出における特徴的な事業として、AIオンデマンドバス運行事業関連、インキュベーション促進事業、介護予防センター内部改修工事設計委託、商工業活性化推進事業、古賀駅周辺整備事業などが挙げられ、これらに質疑が集中しました。その他新規事業としては、地域福祉包括的支援事業、幼児教育・保育提供事業、地球温暖化防止対策推進事業、妊娠・出産・乳幼児期支援事業、農業者経営安定支援事業などがあり、それぞれの事業において、アクションプランとの関連も含めて質疑が行われました。

予算審査の中で、改めて市長の認識等を求める発言があり、「インキュベーション促進事業費」について



「市長質疑」を行いました。また、自由討議も行い、主に「インキュベーション促進事業」「AIオンデマンドバス運行委託等」について、活発な意見が出されました。

採決の結果、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算についての6議案は、全て賛成多数でこれを可決しました。

市長質疑

薬王寺インキュベーション累積予算額 2億1063万8千円に膨張

奴間 健司

問 多額な公金投入の根拠を条例で示すべきではないか。

答 意見は受け止めるが現段階で予定はない

多額な公金を投入する根拠と見通しに関する説明責任が必要

議員 この事業の意義は何か。

市長 関係人口増加や新ビジネス創出による地域活性化が真の価値。

議員 財源は国の交付金というがそれも税金ではないか。

市長 国と市の認識が合致しており国のお金を活用するのは地方自治体として当然の営みである。

議員 「快生館」の5年間の管理委託の収支見込では市の赤字補てんは7792万円。6年目以降は自走を目標とすべきでは。

市長 5年間運営していたら、自走後につなげることが重要。自走について言及することはない。

議員 実質的な公共施設の管理運営委託であり、公金補助のためには条例制定が必要ではないか。

市長 意見として受け止めるが現

段階でその考えはない。

議員 進出企業定着等3千万円が含まれる。いつ決定したのか。

市長 1月7日の三役査定で了承。4つのプロジェクトの実施計画を短期間で作成した。交付金ありきで飛びついていないか。

議員 必要な予算と認識している。獲得できる交付金を取りに行くのは行政として本道である。

市長 なぜ経営戦略課なのか。商工政策課に戻さないのか。

議員 定住化促進、地方創生は経営戦略課の所管であり継続することが適当と判断した。

市長 条例の必要性は疑義が残った。

議員 条例の必要性は疑義が残った。

市長 条例の必要性は疑義が残った。

議員 条例の必要性は疑義が残った。

市長 条例の必要性は疑義が残った。

議員 条例の必要性は疑義が残った。

市長 条例の必要性は疑義が残った。

議員 条例の必要性は疑義が残った。

「快生館」2億円超予算措置	
2020年度	5200万円
2021年度	8543万7千円
2022年度	7320万1千円
累計	2億1063万8千円

2025年度迄の管理運営に係る市の実質負担(赤字補てん)	
	7792万円
※SALTの収支見込みより	

公金投入の意義と根拠を条例で示すべき

反対討論 × 賛成討論

一般会計

賛成

奴間 健司

【評価】海津木苑建設、北中・東中大規模改造、新型コロナ対策。【指摘】▼第5次総合計画アクションプラン↓指標の検証結果公表▼市債残高が増加傾向↓根拠に基づく政策立案EBPM重視による財政運営▼薬王寺「快生館」に2億円超す投資↓多額の公金投入の根拠を示す条例の整備▼「りん」内部改修↓米多比児童館、あすなる教室は利用者との協議、安全確保が整うまで移転しないこと。

反対

内場 恭子

公共交通で、期待されたAIオンデマンドバス実証運行は10月から一部地域のみで、他地域への拡大はない。西鉄バス、お出かけタクシーなどはあるが便数が少なく利用しにくい。市民の要望にこたえていない。身近な市民体育館や千鳥苑、あすなる教室、米多比児童館の建物は廃止。機能を移転する計画は市民への説明が不足し、不安を感じている。再考すべきだ。

賛成

森本 義征

令和4年10月から花鶴・日吉台地区で実証運行が始まるAIオンデマンドバスは多くの市民に利用されやすい環境を作ることが大事。予定している乗降場所の増設、会員登録がスムーズに進むように行政区や団体に協力を得ることを求める。古賀駅西口の拠点形成事業は長年の課題であり、商工会や地域住民と連携して、生活を支える西口エリアへの発展を図ることを求める。

反対

伊東 洋子

介護予防センターりんの施設に、あすなる教室と米多比児童館の機能を移転させる工事設計委託費は、利用者・住民へ十分に説明し、理解が得られるまで予算執行すべきではない。NPO団体と連携し、農家、企業の協力も得た児童権利擁護事業は、一年で中止。令和4年度は市単独で実施する。対象家庭の状況を改善していけるよう子どもに寄り添う支援が必要。子どもにとって、より最適な予算を求める。

特別会計

国民健康保険

賛成

奴間 健司

「対処から予防」への転換を徹底しないと国民皆保険制度の堅持も困難となる。健診自己負担軽減、生活習慣病予防の成果を生かすこと。糖尿病、慢性腎臓病の重症化予防の徹底を。子ども特定健診実現に向けた調査研究の推進を。

反対

内場 恭子

福岡県国民健康保険事業への納付金増に対応するため、市の国保税を2%引き上げ負担増に。一般会計から積極的な財政支援を行い、均等割の廃止や保険税額を引き下げてほしいという市民の願いにこたえていない。

賛成

奴間 健司

高齢者実態調査↓自治会単位のマップ作成で介護予防の効果的対応。生活支援訪問ヘルパー不足↓迅速な対応で介護難民回避。地域包括課と福祉課に分散している弊害について必要な是正を図ること。

反対

内場 恭子

保険料基本月額を5100円に引き上げ、被保険者は負担増に。コロナ禍の今こそ、介護が必要な高齢者が安心して介護を受けられるようにすべき。保険料引き下げや利用料減免制度などの充実ができていない。

12号
議案

国民健康保険事業費納付金の負担増に対応するため均等割額等の変更

古賀市国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税収が2%上がります

現行の保険税率では国民健康保険事業費納付金に対して税収が不足する見込みであるため、令和4年度の想定被保険者数や収納率等をもとに、不足分を税収増のみで対応する場合7%程度の増加が必要となります。今回、不足分を税収増と財政調整基金の取り崩しで対応し、下の表のように税収が2%増に抑えられるように税率改正を行いました。

賦課区分		令和3年度	令和4年度
医療分	均等割	23,400円	23,800円
	平等割	23,500円	26,200円
後期高齢者支援分	均等割	8,400円	8,600円
	平等割	8,500円	9,400円
介護分	均等割	13,200円	13,600円

付託▷ 市民建産委員会 賛成多数 可決

本会議
賛成多数
可決

主な
審議

第1回
定例会
(2月21日～2月23日)

主な
審議・
補正
予算

5号
議案

古賀市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等の支援を総合的に推進

犯罪被害者の支援に関し、基本的理念を定め、市として犯罪被害者等の支援を総合的に推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的とした条例です。具体的には相談および情報の提供、犯罪被害者等見舞金の支給、居住の安定、および啓発などが主な施策の内容になります。

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

7号
議案

古賀市消防団員に関する条例の一部改正

地域消防防災体制強化のため消防団の処遇改善

消防団は他に本業を持ちながら、郷土愛から自らの意思に基づき活動し、地域消防防災体制の中核を担う組織です。消防団員の処遇等に関する検討会の報告による消防庁通達に準じて、消防団員の処遇改善のため条例の一部を改正しました。

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

10号
議案

古賀市補助金審査委員会条例の一部改正

補助金制度を見直し、地域課題の解決およびまちづくりの進展にもっと活用できる制度に

市民活動団体の組織運営力の向上、コミュニティ活動に対する市民の参加意識の向上等を期待し公募型補助金の審査方法を見直しました。

この条例改正を経た新制度の対象団体は、市民活動団体、自治会および校区コミュニティとなります。

補助金額は、単体実施事業では上限24万円（経費の4/5以内）、共同実施事業では上限64万円（経費の4/5以内）です。

申請期間は5月2日～6月10日で、7月9日に公開プレゼンテーションを予定しています。



付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

新型コロナウイルス感染症の影響大

地元説明や工事等の遅れが生じ、令和3年度も、繰越明許費は13件と新型コロナウイルス感染症の影響が生じました。また、金額でも大型事業で補助金の追加交付や住民税非課税世帯等臨時特別給付事業が継続事業など合計14億8,725万1千円と大きな金額となりました。

一般会計全体で見ると新型コロナウイルス感染症の影響による中止や減額も多く生じましたが、歳入歳出それぞれ**7億3,396万8千円**の追加を審議しました。

補正予算
(3月4日)第1回
定例会

特別会計

住宅新築資金等貸付事業

360万9千円を追加

令和4年度より一般会計へ移行

国民健康保険

571万3千円を減額

システム導入委託料の減額等

後期高齢者医療

928万6千円を追加

保険料等負担金

水道事業 (収益的収入)

補正なし

会計 (収益的支出)

4,909万3千円を減額

原水及び浄水費等

下水道事業 (収益的収入)

53万5千円を追加

会計 (収益的支出)

1,286万2千円を減額

負担金、処理場費、普及促進費

一般会計
賛成多数
可決
特別会計・
公営企業会計
賛成全員
可決補正予算
ピックアップ

病児保育事業補助金

353万2千円

国、県の補助額減の補填

国、県の病児保育補助の基準が厳しくなり、補助額が減った部分を市費で補填。

福岡東医療センター病児保育室「たんぼぼ」、こでまり小児科クリニック病児保育ルーム「ここん・こが」にて行われている病児保育が対象です。

※病児保育事業：病気中の児童を家庭で育児ができない場合に、医師の診断に基づき、一時的にお預かりする事業。

補正予算
ピックアップ

県営ため池等整備事業負担金

690万円

ため池の堤体整備

国土強靱化の取り組みを着実に推進するために実施された国の大型補正にともない、新砥石ヶ浦池の堤体整備等を福岡県が事業主体として行います。事業費が増えたことによる古賀市負担分増がこの度の補正額になります。

補正予算
ピックアップ

千鳥駅東口周辺整備事業

1億3,990万円

千鳥駅東口駅前ロータリー用地取得と駅前ロータリー、接続道路の詳細設計

令和3年度予算で古賀市土地開発公社が購入した土地をJR千鳥駅ロータリー整備のために買い戻します。ロータリーと接続道路の詳細設計業務を令和4年6月頃に発注予定です。

補正予算
ピックアップ

小・中学校管理費

2億4,559万8千円

学校トイレ改修工事

千鳥小学校と古賀中学校の校舎（管理棟・教室棟）および体育館のトイレの改修工事。大便器の洋式化、バリアフリー化のほか、自動水栓・センサー付LED照明への変更を予定しています。補助金の追加交付があり令和3年度内の発注および完了が困難なため翌年度に繰越。令和4年度に発注し、同年度中完了予定です。

ここが聞きたい！

①公共交通の充実をどう進めるのか②市民体育館や千鳥苑は必要だ ③西鉄宮地岳線跡地のこれから	内場 恭子	12 ページ
安全・安心、希望を育むまちへ	田中 英輔	13 ページ
①地域公共交通の課題解決は、政治のリーダーシップが必要 ②「ふるさと応援寄附金」について積極的な意欲が見えない市の方針を問う	村松 謙二	13 ページ
①「天神～花見」共栄の道 ②地籍調査事業の加速	吉住 長敏	14 ページ
JR 古賀駅東口の整備計画について	森本 義征	14 ページ
未来に向かって育ち続けるまちの第一歩について	平木 尚子	15 ページ
千鳥苑等「移転・廃止」(案) 対話の力でより豊かな選択肢を	奴間 健司	15 ページ
西口エリアの本質的再生について	福崎トビオ	

新型コロナウイルス感染濃厚接触者となり通告を取り下げ

一般

質問

質問

一般質問



内場 恭子

オンデマンドバス実証運行は利用しやすいか

答 限られた資源の中で持続可能な運行を行っていく

議員 AIオンデマンドバス実証運行の目的と、何年間行う予定か。

説明不足をどう考えるのか。

市長 高齢化率が高く路線バスが利用しにくい花鶴丘・日吉台地域に

市長 総合的に判断し、廃止する場合は、今と同じにはならない。

補完交通手段として、オンデマンドバス運行を開始したい。

議員 代替案のクロスパルがこの料金

今年10月から運行を始め、契約期間は3か年を想定している。

市長 将来世代のことも考えながら共に結論を出していきたい。

その実証結果をどう生かすのか。役に立たない時はやり直すのか。エリア外への運行はどうか。

議員 跡地の道路化での問題は何か。

実証運行の成果と課題をしっかりと見極めることが重要だ。

市長 各小学校周辺に流入する通過交通を国道495号へ誘導し、生活道路の安全性の向上を図る。

減便でバスがなくなっている人への対応はどうするのか。必要な人の思いを反映すれば使いやすいものになるのではないか。

議員 対策は進んでいない。課題解決に丁寧な説明・対応が必要。

課題を共有し、公共交通ネットワークの最適化を図っていく。

市長 西鉄宮地岳線跡地のこれから

市は公共施設廃止の見直しを

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

公共施設の総床面積を現在の8割にするとしている。市民への

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

10年後にはどう変わるのか市民と考えよう

議員 10年後にはどう変わるのか市民と考えよう





田中 英輔
(山海会)

コロナ自宅療養者へ支援の対応が不足では

答 支援事業の周知は必要、さらに対応する

議員 コロナ感染が急拡大した、そのほとんどは自宅療養であった、具体的な対応は。

市長 必要な方には買い物、ゴミ出し代行など、市独自の生活支援を行った。

議員 対象者は多いが利用は少ない、事業周知が必要では。

市長 さまざまな対応を行った、事業周知は必要であり今後もさらに対応したい。

議員 感染の急増はワクチン接種の遅れという指摘もある。

市長 国の接種方針の変更も有ったが2月7日以降は対象者が接種可能となるように進めている。

議員 39歳以下の接種率は低く、3回目接種はこれからである。接種促進の対応は。

健康介護課長 高齢者の接種を先行してきた。今後は若い方も接種券が届けばいつでも接種が可能となるよう対応と周知を進める。

ワクチン接種状況と感染状況

	ワクチン 接種数	接種率	2月感 染者数
90歳以上	603	61.7	16
80～89	2,718	74.1	20
70～79	6,321	81.5	45
60～69	4,474	57.3	68
50～59	1,102	15.4	118
40～49	887	10.5	159
30～39	511	7.7	165
20～29	388	6.8	150
18～19	16	1.4	—
10代	—	—	184
10代未満	—	—	143
合計	17,020	—	1,068

*接種数、接種率はR4年3月1日現在

議員 長期化したコロナ感染症に、子どもたちの学びの機会、希望を支える対応は。

教育長 オンラインを活用した支援などで学びの機会、希望を支えられるよう対応している。

議員 コロナ禍で家庭の経済的困窮が進んでいる。古賀市がこれまで市費で行って来た少人数学級は県費負担になった。このような効果を活用し、多子世帯の給食費補助を復活できないか。

市長 多子家庭の支援の必要性は認識している、慎重に検討したい。



村松 謙二
(市民クラブ)

県議から市長になったが解決できない要因は

答 最大の問題は、計画がなかったこと

議員 市長に就任後、約3年3ヶ月経過した。行政の立場になってみて、どんな要因により公共交通の課題解決ができないのか。

市長 最大の問題は計画がなかったこと。何かを進めるにはしっかりと計画の有る無しが重要で、2年前に地域公共交通網形成計画を策定できたことは一歩を踏み出せたこと認識している。

議員 計画を作っても実行できていないではないか。この公共交通網形成計画には、具体的に取り組み施策事業が①西鉄バス古賀市内線とコガバスの一体的な見直し②乗り換えしやすいダイヤの設定となっているが、令和4年度当初予算概要は、これまでと何ら変わっていない。

経営戦略課長 課題は認識しており、地元の声を聞く地域協議会の立ち上げに至っていないが、令和4年度は引き続き取り組むことにしている。

議員 市長は薬王寺のインキュベーション事業は「スピード感を重視して」と言うが、公共交通は遅々として進んでいない。西鉄の事業方針の情報収集はしているか。

経営戦略課長 令和4年度は3年度と同じ便数を確保していただいている。

議員 私は西鉄社長の2022年度以降の事業方針を新聞で知った。そこには「AIオンデマンドバスを広めたい、大型バスを定期的に通走させるよりコスト負担が下がる」と。事業者は生き残りをかけて事業の見直しに必死だ。

市内路線バスの変貌 (H23年～現在)

系統	経由	便数	
		平日	
鹿野系統	青柳四ツ角	平日	34→31
	筥内	平日	9→9
	筥内・サンコスモ	平日	4→廃止
	新原・サンコスモ	平日	4→廃止
舞の里	花見	平日	25→28
	市役所	平日	18→廃止
小竹	古賀駅東口～グリーンパーク	平日	20→10
	舞の里～グリーンパーク	平日	12→9
	舞の里～グリーンパーク	平日	

経営戦略課資料を基に作成



吉住 長敏

塩漬けにすぎでない旧西鉄宮地岳線跡地

答 貴重な公資源であり即刻に対応したい

議員 天神く花見西鉄軌道の評価は。80年の歴史で公共交通としての役割を担い続け沿線住宅開発、商店街の形成に大きく寄与。井上陽水「東へ西へ」の楽曲にも登場することも語り継ぐべき。

市長 495号以西の南北道路課題は。道路として縦貫しておらず495号の利用以外往来できない。

議員 南北に往来貫通道が必要では。同区間の市民の往来に寄与、生活道路に進入する車両の軽減、通学路整備で安全確保に通じる。

市長 今まで費やした除草等の経費は。平成25年から令和3年迄の総額は約5089万円。

議員 都市計画道路汐入花見線の残区間1300mの見通しはどうか。道路化するのは難しいと考える。区間跡地はなおさら重要だ。指摘通り重要な資源だと認識。

建設課長 残区間は国定公園の中にあり道路化するのは難しいと考える。区間跡地はなおさら重要だ。指摘通り重要な資源だと認識。

議員 天神と花見地域が濃い関係性を深める道路整備が重要と認識。以前、玄望園は塩漬け土地と報道された。しかし宮地岳線跡地は明らかに違って市街化区域だ。全市民の利益のためにも役立て、これ以上塩漬けにすべきでない。

市長 即刻に対応しなければならぬ重要案件であり、開発を進めべく跡地活用で今の状態をこれ以上、持続させることは公としてあつてはならないと考える。

議員 ※その他の質問
地籍調査の促進を

道路整備予算がついた跡地



一般質問



森本 義征
(友和)

古賀駅東口周辺整備を進めるには

答 地元の皆様のご理解とご協力が第一義

議員 新たな道路計画は、古賀郵便局の交差点から入って、駅東口前を通って、図書館側駐車場前の道路に出るといった経路になっている。新たなループ状道路はなぜ必要なのか。

市長 都市計画決定路線と既存道路を組み合わせたパターン検討を行った。それぞれメリット、デメリット等を比較した結果、現在の既存道路を生かしながらループ状の道路として整備していきたいと考えている。

議員 駅前には福祉関連施設が建設できたら多くの市民に喜んでもらえると思う。保育関係施設、シニアの保養施設、医療施設関係の集合体などのスペースを確保してもらいたい。

市長 保育、医療や超高齢社会の中で、高齢者への何か訴求する施設など、こういったものがこの空間の中にあるということは、魅力の向上につながるという基本的な考えを持っている。民間と連携をして、福祉関連の建物等で空間形成をしていくということは、めざす方向性としては、我々もいいものだろうと思っている。

議員 地元から住環境の保全を求める要望がでているが。

市長 用途地域や地区計画などが固まり次第、都市計画手続に入る前には説明会の実施を考えている。皆さまの意向に沿えるように最大限努力をしていきたい。

議員 ※その他の質問
全ての人が地域で支え合い、健やかに暮らせるまちづくりについて、整備計画の総事業費および完成後の維持管理費について等

全ての人が地域で支え合い、健やかに暮らせるまちづくりについて、整備計画の総事業費および完成後の維持管理費について等





平木 尚子
(公明党)

未来に向かって育ち続けるまちの第一歩は

答 関係各所との連携など行い取り組む

議員 子育て支援の充実について、幼児教育、保育サービスの課題と改善点は。

市長 待機児童の原因となっている保育士不足については、新たにICT化や合同就職説明会の支援、雇い上げ強化事業や宿舍買上げ事業なども継続していく。発達に心配のあるお子さんへの支援体制は。

市長 就学前の乳幼児および保護者に対し、発達に関する相談・療育・検査・紹介などを行い、子どもの特性への理解を促している。

議員 発達障害支援体制の一つのペアレントトレーニングなど古賀市で気軽に相談し学べる場合は。

子育て支援課長 発達ルームにいつでも来ていただければ、ノーバディーズ・パーフェクト・プログラムというペアトレを実施している。

議員 分別収集のスムーズな取り組みは、改善策として「家庭ごみの出し

家庭ごみの出し方パンフレット



方パンフレット」に工夫を凝らし、全面的に改定をした。令和3年度から「分別収集困りごと講座」を開催し、区長や地域の世話人役にも参加いただいた。今後もスムーズに資源ごみを分別できるよう啓発等充実していく。

議員 シティプロモーションについて今後考えられることは。

市長 さまざまなメディアで情報を発信していく取り組みを進めている。地域おこし協力隊などによる情報発信など取り組む。



奴間 健司
(友和)

千鳥苑 地域共生・包括のモデルとして発展を

答 価値は尊いが公共施設総量適正化を図る

議員 「千鳥苑の廃止を決定した事実はない」との市長の発言に間違いはないか。

市長 結構だ。当初からその認識だ。これを前提に関係団体と協議を重ね、移転・廃止ありきではない、豊かな選択肢を期待する。公共施設の面積2割削減目標は難しいと思っていないか。

市長 難しい目標と自覚している。心苦しいが機能維持も示した。

議員 市民の意見も聞き、方針変更もありうるのが対話ではないか。

市長 市民の意見を聞き計画期間内のいずれかの段階で最終的決断につなげなければいけない。

議員 千鳥苑は建設から44年の歴史がある貴重な地域資源だ。生き抜く為に必要な施設で、機能には人の要素が詰まっている。移転すれば機能は死んでしまう。

市長 人間として共感するが、将来世代に負荷をかけず公共施設の最

議員 適化を図ることが首長である私の職責と思い仕事をしている。

副市長 千鳥苑は老朽化が進み危険になる。廃止が強く聞こえるが、建替え、民間移譲、どこで建替えるにしても民間と一緒にして経費を浮かす等々をこの10年間で考えようと申し上げている。

市長 千鳥苑の価値は尊い。複雑な思いだが公共施設の総量適正化も必要で務めとして図りたい。

高齢者の居場所

千鳥苑の存続で
多様な機能の維持・発展を

- 年間4万人～5万人の利用
- 送迎バスで市内全域利用
- 高齢者の居場所・介護予防
- 地域コミュニティの拠点
- 子どもやサークルの活動
- 地域包括支援センター
- 民活で収入創出の可能性

総務

委員会

1月26日

委員長 内平 晃二
清原 哲史 吉住 長敏
副委員長 井之上 豊
村松 謙一 田中 英輔

AIチャットボット

問 AIチャットボットの質問総数は、月によって大きな変動があるが、質問の傾向は。

答 7月と8月が大きく増えているのは、新型コロナウイルスの予防接種が始まり、予約サイトにつながらないとか、体調が悪い時はどうしたらいいのかなどの問い合わせが増えた。

問 導入の効果は。

答 問い合わせの半数を占める市役所閉庁時間帯に効果が出ている。

問 現状の対象業務と今後の検討は。

答 開始した当初は、4つか5つの分野が対象だったが、新型コロナウイルスの問い合わせが多かったことから、急きょ新型コロナウイルスに関する質問を追加。メーカーが準備しているQ&Aについてはほぼ準備できている。

デジタル推進課

公共施設等総合管理計画

問 公共施設等総合管理計画第1期アクションプランは、原案と成案に違いがあるのはなぜか。

答 最終的な内容を検討していく中で、若干の文言修正を行った。40年間の試算結果の数字は、若干変更になった金額等をアクションプランに反映した。

問 アクションプランと施設カルテの判定が違うとの指摘があったが、個々の施設の状況を把握し、全体の考えをまとめたものが公共施設等管理計画であり、その根拠になるものは施設カルテだと思うが。

答 施設カルテは、総合管理計画の大まかな目標値を削減減定めるための根拠データで、施設カルテによって施設の方向性を定めたものではない。

管財課

防災対策

問 総合防災マップに関して、3月13日に開催予定の花見校区コミュニティの防災訓練に間に合わせるべきでは。

答 現在、印刷製本の契約待ちの状態で、3月下旬に全ての家庭に配布する。従って3月13日の防災訓練には間に合わない。

問 1月22日深夜の地震では、隣接する福津市からは携帯電話や防災行政無線での放送があったが、古賀市での対応はどうなっているのか。

答 震度4以上が予測される緊急地震速報が流れた場合は、防災行政無線が鳴ることになっており、今回も防災行政無線は流れている。



総務課

インキュベーション事業

問 インキュベーション促進事業の、現状の具体的な説明を。

答 1期分の工事は6月末に終わり、実際の運営を10月30日から開始。現在入居は2社であるが、首都圏などの企業とオンラインを活用し、商談を行っている。現地を見て検討したいという話もある。2期分の工事は、風呂がある建物の1階と3階をリノベーションしており、3月中旬までには工事が終わる予定。

問 全室埋まる自信はあるのか。

答 2期工事でオフィスが増えるので、その分も埋める前提で取り組んでいきたい。

問 交通が不便な場所だが、企業との商談の中で交通アクセスについての課題はあったか。

答 どうやって行ったらいいかとの問い合わせがあるが、今後、運営事業者などと協議をしながら良い方法を探っていきたい。

経営戦略課

常任委員会報告

文教厚生

委員会

1月21日
25日

委員 長	平木 尚子	副委員 長	伊東 洋子
委員	奴間 健司	委員	紙谷 由香
委員	福崎 トビオ	委員	松島 岩太

自分の健康と向き合って

問 体成分分析装置4台の現状と活用方法について。

答 測定に携わる健康づくり推進員に研修を行った後、食進会や介護予防サポーター等を実際測定を行い、その後市民の方に広く実施していきたい。

問 公共施設、サンコスモ古賀やリーパスプラザがに常設し必要な方が必要な時に測定できるようにする考えは。

答 イベント等広く市民の方が利用できる場所を持ち込んだ上で対応しようと考えている。ただ測定するだけではなく、結果を見て運動や食事などのアドバイスができ、健康への意識向上に役立てられるように考えている。

健康介護課

青少年支援センター移転

問 青少年支援センターの移転について。

答 リーパスプラザが中央公民館内から古賀市役所第2庁舎2階206会議室に移転予定。これまでは建物の開館日と青少年支援センターの運営日が異なり来所しづらい。また、イベントの音などで電話が聞こえづらい、個別相談を受ける場所の確保が難しいなどの課題があり、より相談しやすい環境づくりを行う。



移転前の現・青少年支援センター

青少年育成課

子どもたちの安心・安全

問 病児保育の現状について。

答 必要な方には利用していただいていることに関しては、いい傾向であるが、受け入れを断るケースは月に数件発生している。さらに病児保育、病後児保育を受け入れてもらえない医療機関が必要と考えるが、現時点では新設までは考えていない。

問 児童虐待等養護相談の件数が増加している要因とその対応について。

答 長引くコロナ禍において家庭内で過ごすことにより、けんかや虐待が増加。その家庭の情報収集、さまざまな関係機関との連絡、情報共有を行い対応。場合によっては市による訪問や児童相談所へ同行支援をしてもらうなど丁寧に対応。その後、要保護児童対策地域協議会に登録し、各関係機関と見守っている。

子育て支援課

高齢者の今後の介護予防

問 社会福祉施設「りん」の今後について。

答 機能は廃止で建物は残す。活動されている団体に対しては活動は令和4年度までと説明。基本的には地域の公民館や種類によっては公民館や種類によっては公民館での活動継続も視野に入れて意見を聞いている。

福祉課

校則の見直しについて

問 校則の見直しの進捗状況は。

答 令和4年度には見直しを完了する予定。子どもの生活の安全や自立に向けての学びにとつて必要な最小限の規定となるよう、時代に合わせて変更する方法も明記できるように見直しを進めている。

学校教育課

市民建産

委員会

1月27日
28日

委員長 中野 敦史
古賀 誠視
副委員長 渡 孝二
内場 恭子 森本 義征
竹下 司津男

市民討議会について

問 市民の水道に対する考え方、料金や浄水場、水源の確保、防災に関する問題などが取り上げられているが、これらの市民の意見を今後どう活用していくのか。

答 今後の浄水場の在り方に反映させていく。今回の無作為抽出の討議会で、市の情報発信と市民の思いがずれ違っていることが判明し、次年度も上下水道課に限らず、このような会議を進めていくことで、市民の意見を踏まえた行政運営ができるものと思っている。



上下水道課

JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクトについて

現在法人化に向け手続き中で、正式に立ち上がった際には、これまで意見交換会に参加された関係者にお披露目予定との報告がありました。

問 まちづくり団体の今後の具体的な活動は。

答 今後の活動については拠点を持ち、収益事業を行っていただく。西口エリアの賑わいの活性化に取り組んでいたいただき、創業や開業する場面の支援などを市に代わり、実施してもらう。拠点については選定作業中。



商工政策課

「ひびきの里」の営業終了について

令和3年11月福祉課宛に、「ひびきの里」の事業運営返還の通知があり、3月20日前後が最後の営業予定日になるとの報告がありました。

問 「ひびきの里」の営業終了は、新型コロナウイルス感染症の影響による売り上げの低下が原因なのか。また障がい者雇用をしていたと思うが雇用先などは確保できているのか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響も含め、運営主体である社会福祉法人福岡コロニーの将来的な事業構想の中で閉店を決断。また現在就労されている方は、今後「なのみ工芸」での就労を予定。



農林振興課

JR古賀駅東口周辺整備について

今後行政が整備していく公共施設、公園、道路、駅前広場などに関する基本方針や整備計画を検討し、JR古賀駅東口周辺整備基本計画を策定した。地元説明会の開催について、12月に古賀東区の住民向けに説明会を実施したとの報告がありました。

問 JR古賀駅周辺の人口について、東口では高齢者の割合が高く、変化の仕方も西口とはずいぶん違ってくると思うが、どういう方向性をもって進めていく考えか。

答 今後人口減少社会を迎え、まちづくり基本計画の中で、古賀市は近隣市町と比較して生産年齢人口の減少が見込まれ、生産年齢人口の呼び込みなど、市外からの受け入れを積極的に考えており、東口の開発によって人口を集約していきたいと考えている。

都市整備課

一部事務組合議会報告

議長 結城 弘明

玄界環境組合議会

令和4年2月3日第1回定例会開催。3年度の補正の主なものは燃料費などの債務負担行為。

4年度予算歳入歳出総額約32億円が上程され、歳出の主なものは焼却場管理費12億3000万円、空調機取替約1億円等。歳入での古賀市経常分担金は約5億9000万円。それぞれ賛成全員で可決。

粕屋北部消防組合議会

令和4年2月15日第1回定例会開催。4年度予算歳入歳出それぞれ約12億1000万円を上程。主な歳出で消防車輛購入2台分約6500万円を上程。休日診療所特別会計予算などいずれも賛成全員で可決。

古賀高等学校組合議会

令和4年2月7日第1回定例会開催。4年度予算歳入歳出それぞれ約5億8900万円を上程。また、3年度補正および任期付職員給与改定案を上程。いずれも賛成全員で可決。

北筑昇華苑組合議会

令和4年2月9日第1回定例会開催。4年度予算、補正予算および監査委員の選任議案を上程。4年度予算では歳入歳出それぞれ約2億7650万円を上程。それぞれ賛成全員で可決。監査委員は久山町西村勝議員が選任され賛成全員で同意した。



陳情

4年陳情1
地域医療を守り、医療・介護・福祉、公衆衛生の拡充を求める意見書を国に提出するための陳情書

陳情者

福岡県社会保障推進協議会

会長 田村 昭彦

4年陳情2
「補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への支援拡充」を求める自治体意見書採択についての陳情書

陳情者

福岡県保険医協会 会長 林 裕章

4年陳情3
国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情書

陳情者

海事振興連盟 会長 衛藤 征士郎

4年陳情4
保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、職員処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書

陳情者

福岡県保育団体連絡会

代表 福井 英二

議会事務局紹介

異動

長野 葵 (事務局業務主査)
議会での経験を生かして、これからがんばります。



長野さん (真ん中)

配属

荒牧 有衣 (議会事務局主事)

円滑な議会運営となるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。



荒牧さん

議場見学会開催



令和3年12月27日、千鳥コミュニティ寺子屋の小学生18人が議場を使った学びの場を開催しました。

議場に入る前の委員会室では、明るく元気な声で自己紹介と好きなことを発表し、議会について少し学習したのち議場へ。

第1回定例会の傍聴者は30人でした。ありがとうございました。

令和4年第2回定例会は6月8日（水曜日）開会予定です。



議員席に座り、討論から採決までの模擬議会体験が始まりました。討論する議案は「夏休みなどの長期休暇の廃止」と「市内小学生全員へゲーム機の配布」についての2議案でした。

緊張してあまり発言者はいないかも、と心配しましたが、いざ始めてみると、なぜ賛成なのか、なぜ反対なのか、といったそれぞれの考えをしっかりとまとめた討論を交わしていました。

その後は議長席に座ったり、集合写真を撮ったりし議場は、子どもたちの笑顔が溢れる場になっていました。



参加した小学生の感想としては「入れない場所に入れて楽しかった」「多数決のボタンを押すのが楽しかった」「社会で勉強したことが実際に見られた」などがありました。

議員の感想では「素直な意見が聞けて私たちの方が勉強になった」との声が多く、改めて討論の大切さ、仕事への向き合い方を感じさせていただいた議場見学会でした。

青少年育成課（寺子屋所管）
092-942-1172

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



令和4年 古賀市議会 第2回定例会会期日程（案）

会期 6月8日～6月24日 17日間

日曜	8水	10金	13月	14火	15水	16木	20月	21火	22水	24金	会議名
	本会議（初日）	本会議（2日目）	常任委員会	常任委員会	常任委員会	補正予算審査特別委員会	一般質問	一般質問	一般質問	本会議（最終日）	
開議時刻は全て9時30分～											

注）会期日程は、6月3日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧いただけます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 （本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席ですがコロナ禍により減席しています）
 ◎願書の締切りは6月1日（水）午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



編集後記

表紙の言葉
 このまちで暮らす人たちの安全を日々願う活動する古賀市消防団。退団される方々、ありがとうございました。入団される方々、これからよろしく願います。

今年も蛍が飛び交う季節がやってきた。古賀市でも薦野・清滝・薬王寺地区など、毎年多くの蛍が乱舞する光景を目のあたりで見る事ができる。田んぼには苗の育成と共に元気な緑の風景が広がりが、夜には蛙たちが「ガーガー」と耳に心地よい合唱を繰り広げてくれる。コロナ禍にありながらも粛々と営まれる日々の生活の傍らで、日常を戦禍に脅かされている人たちがいる。ウクライナの空に一日も早く平和な日々を取り戻されますように。（竹下）

議会報編集常任委員会
 委員長 福岡トビオ
 副委員長 平木尚子
 委員 清原哲史
 内平晃二
 紙谷由香



令和4年 第1回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：令和4年2月21日～3月23日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
2	専決処分(学校施設の管理業務遂行上の過失に係る損害賠償)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	古賀市附属機関の設置等に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	古賀市公共施設等総合管理基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	古賀市犯罪被害者等支援条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	古賀市個人情報保護条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	古賀市特別職の職員の給与等に関する条例及び古賀市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	古賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	古賀市営住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	古賀市補助金審査委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	古賀市隣保館条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	古賀市道路占用料徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計設置条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	令和4年度古賀市一般会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	令和4年度古賀市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	令和4年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	令和4年度古賀市介護保険特別会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	令和4年度古賀市水道事業会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	令和4年度古賀市下水道事業会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	令和3年度古賀市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和3年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	令和3年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	令和3年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	令和3年度古賀市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	令和3年度古賀市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	通信回線を用いた電子計算機の結合(デジタル活用による預貯金等財産調査委託業務)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	古賀市議会基本条例及び古賀市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	古賀市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	古賀市一般職の職員の給与に関する条例及び古賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	古賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び古賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	古賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 ■は議員・委員会提出議案

ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、 恒久平和を求める決議

理 由

ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、武力行使の即時停止と軍の完全撤退を求め、恒久平和を実現するため。

世界中が新型コロナウイルス感染症の被害と対応に追われている最中、ロシア軍は、2月24日早朝（現地時間）に国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後も、子どもや女性などの民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

よって、古賀市議会は、ロシア軍によるウクライナ攻撃と主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月23日
古賀市議会

本会議
賛成全員
可決

古賀市議会のオンライン活用に関する 条例(第28号)と規則(第29号)の一部改正

理 由

議会活動を円滑かつ効率的に行うため、オンラインを活用した委員会の開催等情報通信技術の活用について、古賀市議会として推進することを定め、関係条例を一部改正。また、オンラインにより委員会に出席する委員に関する取り扱いを定めるほか、規則の一部を改正するため。

委員会の開催方法の特例

新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置の観点から、委員会の招集場所への委員の参加が困難と判断される実情がある場合には、オンラインを活用した委員会を開催することができる。(第 28 号議案)

オンラインを活用した会議にオンラインで出席した委員は、出席委員とする。

(第 29 号議案)

本会議
賛成全員
可決